

平成 29 年度 第 2 回学校協議会 会議録

1 日 時 平成 29 年 12 月 14 日 (木) 18:00 ~ 18:50

2 場 所 産業高等学校会議室

3 出席者

(1) 学校協議会委員 (50 音順)

産業高等学校同窓会副会長 杉山 玄道

産業高等学校 P T A 会長 葉山 隆二

産業高等学校前校長 久井 孝則

※ 欠席委員 池内 美智子 (産業高等学校元 P T A 会長)

大畑 明生 (岸和田市立中学校会会長)

(2) 学校

校 長 楠戸 啓之

全日制教頭(司会) 西村 元博

定時制教頭 榎本 正広

事務長(記録) 小林 大樹

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 「短焦点プロジェクターを活用した授業」について

本校定時制を卒業された古田桃代様から昨年度いただいたご寄付で、今年の夏に普通教室 2 1 教室に短焦点プロジェクターを設置した。その後授業での活用事例や生徒の反応などについてアンケート調査を行った。その結果と授業の様子を撮影した動画をもとに、全日制・定時制それぞれから報告を行い協議した。

●短焦点プロジェクターの機能や特徴の説明。

短い焦点で照射可能なプロジェクター。主にパソコンと接続し、その画像データを照射して授業に活用。書画カメラと接続し手元のプリント類を照射することもできる。また、U S B メモリや電子カメラ類、DVD プレイヤーなど映像機器などの接続も可能。

○全日制

財務会計の授業では、これまで損益計算書の表などは罫線を手書きで引いていたが、プロジェクターであれば黒板にデータを表示できるため、板書時間の短縮が図れ、その時間を生徒の観察時間に使えるようになった。

英語の授業では、これまで単語発音などは教員がフラッシュカードを入れ替えていたが、表示画面

はリモートコントロールができるので、教員は机間巡視しながら生徒と同じ目線で授業進捗の確認ができるようになった。

世界史では、これまで地図・画像は大きな紙や本を持参するか、プリントなど資料を見ていたが、教室へ持参するには限界があり、プロジェクターでは必要なデータを素早く映し出すことができ、非常に使い勝手が良くなった。

デザイン科の授業では、これまで黒板にしていたスケッチを、画像や動画で映すことができるので、表示する情報量が多くなり、視覚的に内容を伝えることができる点が大きなメリットである。

アンケート結果から使用者は主にパソコンを接続して活用、また、授業での生徒反応は良くなったとの回答を得ている。他教科同様に板書時間の削減により得られた時間を説明や解説などに有効に活用できる。

今後は、Wi-Fi 環境を整えるなど設備面での準備を検討していきたい。

○定時制

商業演習の授業では、パソコンをつないで Excel で作成したシートを映して説明している。

数学 I の授業では、不等式の内容で PowerPoint を使って説明し、映像に直接書き込んでいくので時間が節約でき、生徒観察に時間が取れる様になったことが大きなメリットである。

英語の授業では、PowerPoint で作成したフラッシュカードとして使っている。

現代社会の授業では、書画カメラを使用し、プリントを拡大、その映像に書き込みながら授業を進めている。

アンケート結果から、ほぼ全員普通の授業で活用している。

利用形態については、書画カメラを利用している割合が高い。定時制の授業ではプリントを使うことが多いので、そのプリントを映し出すことにより生徒にとって非常に分かりやすい授業となった。また、授業内で時間短縮できた部分を生徒観察に費やすことができる。

生徒の反応も良くなったという回答が圧倒的で、写真等を大きく拡大して見せることができるので生徒もイメージしやすくなった。

より良い使い方をするために、Wi-Fi の利用や書画カメラの増設台数を増やすことなどを検討している。また活用状況について意見交換ができる機会を定期的に持っていきたいと考えている。

○質疑応答

委員：プロジェクターは普通教室すべてに設置されているのか。また、書画カメラは全教室設置されていないとのことだが、どのように利用しているのか。

事務局：短焦点プロジェクターは全ての普通教室（21教室）に設置されている。書画カメラはすべての教室に設置されていないので、職員室から持参。プロジェクターと接続し利用している。

委員：英語の授業などでの音声利用はしているのか。

事務局：今のところはできていないが、今後利用を検討している。

委員：プロジェクターを利用した教材作成のための専用のソフトはあるのか。

事務局：専用ソフトは特にない。パワーポイントやエクセルなどで作成している。

委員：接続するパソコンはどのようにしているのか。

事務局：現状は各教員のパソコンを教室へ持って行き利用。または貸出用のパソコンを利用している。

委員：Wi-Fi機能は利用しているのか。

事務局：セキュリティ上の課題があり、今後運営管理も含め検証を行っていく予定である。

委員：画面に文字を書いたり、消したりすることも簡単にできるのか。

事務局：マグネット式のスクリーンを設置しており、黒板に張り付くようになっている。そこにデジタルペンで文字を書いたり、線やマーカーを引いたりすることができる。

委員：電気は消灯しなくても画面は見えるのか。

事務局：十分に見ることができる。また、短焦点は画像を上部から照射しているので、通常のプロジェクターと違って表示画面に授業者の影ができないことも特徴。

委員：作成した教材を他の学校と共有したりしているのか。

事務局：大阪府教育センターで公開しているものがあるので、参考にしている。

委員：ランニングコストはどれぐらいかかるのか。

事務局：ランプ等の消耗品の交換と本体冷却用のファンフィルターのクリーニングは必要。

委員：とてもいいものを入れていただいたので、積極的に活用いただきたい。

委員：学校説明会ではPRしていないのか。

事務局：まだ十分にはできていない。今後、説明会などでもPRしていきたい。

事務局：教員の感想として、生徒が以前より前を見るようになった。また、先生方も作表など板書の時間が短縮され、その時間を生徒対応に使えるようになり、よい効果を生んでいる。

委員：今後もプロジェクターを利用した授業の情報を教員同士共有し、積極的な活用を勧めてほしい。

次回は、3月開催を予定。